

国内サッカーリーグ、今シーズンのリーグ戦終了と残る全試合の中止を発表 W杯最終予選の試合スケジュールは変更なし

タイサッカー協会(FAT:Football Association of Thailand)は、10月14日、プミポン国王の逝去を受け、今シーズンのタイ国内サッカーリーグ(トップリーグに相当するタイ・リーグ、およびディビジョン1、ディビジョン2)の終了と、残る全試合の中止を発表した。フットサルやビーチサッカーなどのリーグ戦も同様の扱いとなることが発表された。

FATの決定に対し、タイ政府スポークスマンは10月15日、服喪期間中であっても、必ずしもサッカーのリーグ戦を注視する必要はないとする声明を発表。これを受け、FATは10月17日、所属クラブなどをはじめとする関係者を招集し、今後のリーグ戦やカップ戦などの継続の是非に関し、再度協議を行った。FATの発表によれば、タイ・リーグに参加する18チームに対し、リーグ戦の継続・中止の是非を問う採決を行った結果、18チーム中17チームが中止を指示した。同結果を受け、14日の発表のとおり、リーグ戦の終了と残り試合の中止が正式決定された。

今シーズンのタイ・リーグは10月末での終了を予定しており、3月に開始されてから10月14日時点で31節までのゲームが終了。10月末までに、10月19日(32節)、23日(33節)、30日(34節)の3ゲームが残される中、FATの最終決定により、今シーズンのリーグ戦の最終順位として、10月14日時点の勝ち点に基づく順位が採用されることになった。

タイ・リーグでは、全18チームのうち最終順位で下位3チームが自動的に2部リーグ(ディビジョン1)に降格するシステムを採用しているため、同日時点で16位、17位、18位となった、アーミー・ユナイテッド、チャイナート・ホーンビルFC、BB-CU FCの3チームの降格が決定した。一方、ディビジョン1からは、入れ替わりで、1位のタイ・ホンダFC、2位のウボンUMT ユナイテッド、および3位ポートFCの昇格が決定した。

なお、タイ・リーグでは、残り3節の時点で、勝ち点5差の中に11位~17位の7チームがひしめき合う熾烈な降格争いが繰り広げられていた。そのような中、降格が決まったチームや同ファンの間で、決定に対する反発が出ることも予測される。

一方、W杯最終予選の今後のスケジュールに関しては、11月15日にタイ国内(ラジャマンガラスタジアム)で予定されているオーストラリア戦を含め、予定通り行うことが発表された。当初、2017年9月にオーストラリアで予定されているアウェー戦と、ホーム&アウェーの順序を入れ替えることも検討されたが、オーストラリア側の対応が不可能ということで、予定通りの開催が決定された。ただし、観客の入場の可否などを含めた詳細は決定していない。